

佐賀市男女共同参画情報誌

ぱ す ぽ ー と

# Passport

2025 秋 Vol.54

男らしさ、女らしさにとらわれず、自分らしく暮らせる社会。お互いに認め合い、個性と能力を發揮できる佐賀市の実現を目指しましょう。



シェアワーカー入門講座

消防の現場で活躍する女性・男性の姿を見学しよう



第1回女性活躍推進セミナー

## ★ CONTENTS ★

- 第1回女性活躍推進セミナー ……P1~P2
- シェアワーカー入門講座 ……P3
- 描こうMyStory ……P4
- 消防の現場で活躍する女性・男性の姿を見学しよう…P5
- 佐賀市男女共同参画推進協賛事業所紹介 …P6
- ジェンダー平等から始めるSDGs ……P7

# 第1回女性活躍推進セミナー

はて？  
私たちの創る物語が、  
未来を変える。

- ・開催日：令和7年7月26日（土）  
14:00～15:30
- ・会場：ホテルマリターレ創世



トークゲスト  
吉田恵里香さん

## ■スペシャルトーク

### 「常識のアップデート、もう始まっている？—時代のはて？」

セミナーの前半は、連続テレビ小説「虎に翼」やドラマ「恋せぬふたり」など、数々の作品を手がける脚本家・小説家の吉田恵里香さんによるスペシャルトークが行われました。作品執筆のエピソードだけでなく、女性や社会問題への質問にも丁寧に答えてくださいました。

**「虎に翼」にこめた思いは「ケアが見えていない人への偏見を変えるため」とのことですが、具体的には？**

**吉田さん：**ケア労働の中でも、搾取をする側・される側の構造を描きたいと思っていました。いつのまにか両者に上下関係ができたり、ケア（サポート）される側ばかり注目されて、支える側が二軍扱いになるという構造がどうしたらフラットになるかを常に考えています。

※ケア労働とは、育児、介護、家事など、他者の世話や生活を支える活動全般を指します。これには、家庭内での無償の労働だけでなく、介護施設や保育園など、有償の労働も含まれます。

**吉田さんも子育てをしながら執筆活動をされていますが、行政の子育て政策に要望はありますか？**

**吉田さん：**あるのですが、もうすでに各自治体で十分努力をされていると思います。大きな社会の構造レベルで変わるためには、やはり一人一人が「困ってるよ」と声を上げていくことが大事だと思います。

**「固定的役割分担」などの古い常識をアップデートするにはどうしたらよいと思いますか？**

**吉田さん：**自分がジェンダーギャップに不満を感じていなくても、他の人が不満を感じていたらちゃんと聞き入れるような社会になってほしいです。自分に関係ないと思っている人もまだまだ多いので、まずは近い人や大事な人に「それは偏見だよ」と一步一步伝えていくことが大事だと思います。

## <感想>

吉田さんは今後も「自分の選択は自分で決める」というメッセージをこめた作品づくりをしていきたいとおっしゃっていました。参加者も吉田さんの生の声に真剣に耳を傾けていて、あっという間の30分が終了しました。

（編集委員 草野圭織）

# 新市誕生20周年記念トークセッション

## 「はて？」から始める、私たちにできることは…？



登壇者 吉田恵里香さん（脚本家・小説家）  
前田くみ子さん（古伊万里酒造 四代目蔵元）  
坂井英隆（佐賀市長）

セミナーの後半は、「はて？私たちの創る物語が、未来を変える。」と題して、連続小説「虎に翼」の脚本家 吉田恵里香さん、古伊万里酒造四代目蔵元 前田くみ子さん、坂井英隆佐賀市長が登壇し、固定的役割分担やジェンダーギャップありきで作られてきた常識のアップデートのために私たちができることは何かを共有しました。

### トーク① 「はて？」とを感じる社会のしくみは？



坂井市長

**吉田さん**：間違っていることに対して「NO」と言いたくても、言ってはいけなような空気がある。⇒「はて？」

**前田さん**：「女性として」「女性だから」と、生まれ持った性別だけで特別視されることがある。⇒「はて？」しかし、それがメリットになる場面も…

**坂井市長**：弁護士時代、女性の一部は産休、育休後に復帰しやすいという理由で弁護士の道を選んでいた。⇒「はて？」資格がなければ復職が難しい社会になっているのでは？

### トーク② 20年後の未来をより良くするために必要なことは？

**吉田さん**：「今の若い人たちは…」ではなく、大人たちが失敗に寛容な風土をつくるべき。そうすることで次の世代が挑戦しやすい環境になる。

**前田さん**：10年、20年後は今とは全く違う世の中になっている可能性が高い。私たちが柔軟性をもって変化していくことが大事。

**坂井市長**：「はて？」をどうアクションに繋がられるか重要。今の社会があるのは、先人たちが行動し壁を打ち破ってきたから。はて？を行動に移し、次の世代に苦勞させない社会を目指す。

### トーク③ 社会を変えるために私たちにできることは？

**吉田さん**：人の言動に違和感を持ったときには流されずに抗うこと。<sup>あらが</sup>声をあげなくても、表情などで「反応」を示すことが大事。

**前田さん**：仕事も子育ても、自分のやりたいことを続けていくことが大事。

**坂井市長**：昔は専業主婦が当たり前だったが、今は180度違う社会に。制度が社会の変化に追いついていない現状を変え、まずは市役所をモデルに他の組織にも広げていければよい。



前田くみ子さん

### <感想>

「世の中の『はて？』をエンタメの力で変えていきたい」そういった吉田さんの思いや作品のポテンシャルが感じられるセミナーでした。私たちが「はて？」と感じたときには、エンタメに昇華することはできずとも、表情や態度で「表現」することで、社会を少しずつ変えていけると思うことができました。

（編集委員 濱田仁晟）

# シェアワーカー入門 「好きや得意を仕事にするための講座」

## ～シェアリングエコノミーの可能性～

- ・開催日：令和7年7月1日（火）10:30～12:30
- ・会場：佐賀市立図書館 大集会室
- ・講師：（一社）シェアリングエコノミー協会代表理事 石山アンジュさん



「羽鳥慎一モーニングショー」などのコメンテーターとしても活躍されている、シェアリングエコノミー協会の石山アンジュさんを講師にお迎えし、「好きや得意を仕事にしたい」「オンラインワークに興味がある」等の思いをもつ方々向けにシェアワーカー入門講座が開催されました。

### ■シェアリングエコノミーとは？

人や企業がスキル・モノ・場所などの資産を共同所有、売買、貸し借りすること。このような経済的機能だけでなく、近所の人同士の「おすそわけ」のような新しいコミュニティを創造する社会的機能ももちあわせています。

現在はネットを通じたシェアリングサービスが広がり、住宅や会議室、傘やモバイルバッテリーなど、シェアの対象は多領域に及びます。

### ■シェアリングエコノミーで暮らしはどう変わる？

今までは大量生産・大量消費が豊かさの象徴で、より大きなものに依存することが善とされてきました。しかし、現在では明日何が起こるかわからない＝不確実性の中で生きる社会となり、これからはつながりやライフスタイルの選択肢を増やすことが新しい豊かさとして求められています。また、既存のものを活用するシェアリングは「つくらない・捨てない」というサステナブルな経済モデルのため、人や企業、まちなどの持続可能性を高めることにもつながります。

### ■シェアワーカーとは？

自分の特技や趣味・遊休資産を使って、シェアリングサービスで収入を得る働き方。

例えば、料理の作り置きや包丁研ぎのレッスン、使っていない空き家のレンタルサービスなど、オンラインも活用し、好きな時間に好きな場所で働くことが可能です。



### <参加者の意見や感想>

- ・シェアワーカーのイメージが漠然としていたが、講座を聞いてきちんと理解できた。
- ・自分にも何かできるかも、というワクワクした気持ちになり希望をもてた。
- ・今回は入門編だったので、次のステップでは実践編を学びたい。
- ・市民がもっとシェアリングサービスの情報共有ができるようなシステムがあればいいと思う。

### <感想>

シェアワーカーというと少し難しそうなイメージでしたが、石山さんのお話を聞いて、「私もスキルや経験が活かせるかも」と希望をもつことができました。

佐賀市では官民連携でシェアリングエコノミーが推進されていて、地域の特性を活かしたシェアリングサービス（例：自転車シェアサービスのチャリチャリ）も運用されています。調べてみると他にも興味深いサービスが多々あり、シェアの概念が広がってきていることを実感しました。

（編集委員 草野圭織、中村美枝子）

# 佐賀銀行創立70周年 記念フォーラム

## ～描こう My Story～



- ・開催日：令和7年7月19日（土）13:00～16:00
- ・会場：佐賀市文化会館中ホール
- ・主催：株式会社 佐賀銀行

佐賀銀行創立70周年を記念して、「女性活躍推進」や「ダイバーシティ」をテーマにした記念フォーラムが開催され、第1部では朝夏まなとさんを招いたトークショー、第2部では4人のゲストによるトークセッションがありました。

※株式会社佐賀銀行は、佐賀市男女共同参画推進協賛事業所として男女共同参画の推進に積極的に取り組んでおられます。

### 第1部：トークショー

スペシャルゲスト 朝夏まなとさん（俳優、元宝塚歌劇団宙組トップスター）

テーマ「舞台の裏側にある、信頼の作り方」

#### ○ 宝塚を目指したきっかけ

中学2年時に初めて宝塚公演を佐賀市文化会館で観て、舞台上に立ってみたいと思った。

#### ○ 宝塚歌劇団でトップスターとして意識していたこと

トップスターの人柄で組の雰囲気が変わるので、後輩に自分から挨拶をしたり話しかけたり、団員80名の名前を覚えたり、自分から積極的にコミュニケーションを取るよう心がけた。

#### ○ 舞台人として大事にしていること

相手の立場や気持ちになって考えることを大事にして、自分が心を開くことで相手も心を開いてくれるように心がけ、相手との信頼関係を築いている。

#### ○ 壁にぶつかった時に心がけていること

今でも新しいことに立ち向かう時は毎回壁にぶつかり不安や緊張もある。しかし、「やってみよう」と一歩、半歩でも踏み出せば道が開ける。一歩踏み出すと自分が想像していないことが始まり、それを楽しんでやっている。

#### ○ 参加者の皆さんへのメッセージ

楽しむことを忘れずにマイストーリーを作してほしい。



### 第2部：トークセッション

テーマ「未来へ向かって個性の和を広げよう～多様な価値観を持つ人材が活躍できる環境について～」

#### ○ 女性活躍のためのヒント

##### 大谷桃子さん（女子テニス選手：車いすテニス）

私は毎年「やりたいことリスト100」を書き出し、その時々で実行し、後悔のない生き方を心がけている。将来は、障がいのある方が社会に出ていく準備を整えられるような車いすテニスクラブを立ち上げたい。また、健常者の方々にも障がいのある人との共生を体感していただける場をつくりたい。

##### 加藤雅世子さん（佐賀星生学園学校長）

本園はダイバーシティの宝庫で、教育のユニバーサルデザイン化を目標に掲げ生徒の個性を大切にしている学校運営をしている。「子どもの力を信じ、子どものために」という信念をもち、職員も個性や能力が違っているのでお互いがフォローできる組織を作りたい。

##### 木下里美さん（佐嘉酒造株式会社代表取締役社長）

銀行員から酒蔵の社長に就任し、営業職に9か国語を話すイタリア人や蔵人に英国人を採用し酒蔵の国際化を進め、思ったことを躊躇なく言える国際性豊かな職場づくりを行う。女性に好まれる清酒の開発や海外輸出など、観光酒蔵を開きたいという夢がある。

##### 徳永ヴェラさん（株式会社徳永製茶日本茶アドバイザー・茶育指導士、スロベニア共和国出身）

日本茶文化の普及に取り組んだり、ハーブティーのテイストを取り入れた新たな緑茶の開発に取り組んだり、「温故創新」の気持ちで活動している。日本人は緑茶の魅力を次世代に伝え、お茶の再発見をして日本の文化を大切にしてほしい。

**<感想>** 会場は満席で熱気に溢れていました。このフォーラムの企画から運営まで佐賀銀行の女性メンバーが担当されていました。「女性活躍推進」や「ダイバーシティ」をテーマに第一線で活躍されている方々が自らの経験から育まれた有意義なアイデアや信念、これからの夢などを語られ、自分を輝かせるヒント、経営や起業のヒントがたくさんちりばめられた素敵で華やかなフォーラムでした。

（編集委員 梶島陽一郎）

# 消防の現場で活躍する女性・男性の姿を見学しよう

- ・開催日：令和7年7月12日（土）9：00～12：00
- ・会場：唐津市消防本部
- ・主催：唐津市男女共同参画室、唐津消防本部消防総務課

唐津市や玄海町内の子どもたちを対象に《消防の現場の体験・見学》のイベントが開催されました。女性になれるというイメージのあまりない職業の一つである消防士。その仕事を見学・体験したり、現役の消防士さんに話を聞いたりして、消防士という仕事の魅力や奥深さを子どもたちに知ってもらうこと、「できる」「できない」を性別で決めつけることなく本人の持っている可能性を広げることを目的とし企画されたイベントです。

## プログラム

### 1時間目 消防の仕事紹介



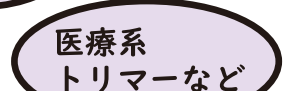
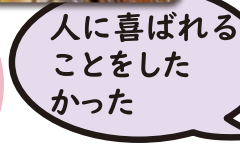
### 2時間目 特別な体験（応急手当・活動体験）



### 3時間目 消防署内の見学（消防車乗車体験、写真撮影）



### 4時間目 仕事内容の紹介・質問の時間



## <感想>

救急隊体験、通報訓練、消防服を着ての救援体験などや、ドラマに出てくるような通信指令センターや最高水準の消防車をすぐそばで見ると、普段なかなかできない消防署体験ができた。はじめはじっとしていた子どもたちも4時間目のころには勢いよく手を挙げるほど興味を持ったようだった。

しかし、一番興味深かったのは、目標取得率85%を掲げて男性の育休をとりやすくしていること、育休明けの女性の勤務は本人の希望を聞くなどして働きやすい職場作りに取り組んでいること、そして、今は3名だが女性消防士の数を国の目標（9名）に増やしていくことなど、署をあげて男女共同参画を推進しようと取り組んでおられることだった。

女性消防士からの「救助する人に女性の消防士さんでよかったといわれたことがある。やはり消防署に女性は必要だ。」「日々の活動で大切なのはチームワーク。性別に関係なく持てる力を出し合ってよい活動になるようにしている。」との言葉に命に関わる職場だからこそその重みを感じた。

（編集委員 矢ヶ部ひとみ）

## － 佐賀市男女共同参画推進 － 協賛事業所紹介

市とともに男女共同参画の推進に積極的に取り組んでいただいている事業所を紹介いたします。（五十音順）

### 株式会社NBCソシア NBCラジオ佐賀 （コムボックス佐賀駅前 1F） 放送業



NBCラジオ佐賀は1958年8月1日に佐賀市本庄町に開局、2020年、佐賀駅そばの商業施設「コムボックス佐賀駅前」内へ移転しました。この“駅前ラジオ放送局”で、パーソナリティやディレクター等の番組契約スタッフと協力して、楽しく元気に放送しています。各部署で女性が活躍中です、佐賀駅前に遊びに来てください！

### 公益財団法人 佐賀市スポーツ協会 （神園） その他のサービス業

当協会は、佐賀市のスポーツ振興のため、親子、友人、職場の同僚など老若男女、性別や国籍を問わず、誰もが楽しめるスポーツ実践の場の提供を目指して事業を展開しています。また、若手から高齢者までの職員に対し、育児介護休業法改正による規程の見直しや時間単位の休暇の取得など、働きやすい職場作りに努めています。



### 特定非営利活動法人 ひとり親 ICT就業支援センター （兵庫町藤木） 社会福祉業

Information and Communication Technology Work Support Center  
ICT NPO法人 ひとり親 WSC ICT就業支援センター

当法人は、2013年に設立され、佐賀県内のひとり親家庭の親をはじめとする、一般就労が難しい人々に対して、家庭と仕事の両立を図りやすい働き方で就労しやすい形態であるICTを用いた業務を委託することにより、生活の向上を図り、雇用機会の拡充を支援する活動を行っています。

また、職業能力開発やキャリア支援にも取り組んでいます。

### 株式会社ファビルス筑肥営業所 （駅前中央） その他のサービス業



弊社は、昭和33（1958）年設立の総合ビル管理会社です。「誠実・清潔・正確」を社訓としており、官

公庁や病院、商業施設、マンション等の建物の維持管理を行っています。社会生活を支えるべく安心・安全・快適なビル環境となるよう日々努めております。

女性も多く活躍しており、産前産後・育児・介護休業制度や時短勤務制度、育成支援休暇を取り入れる等様々な状況においても社員が働きやすい職場となるよう取り組んでいます。

### 三井住友信託銀行佐賀支店



（駅前中央）  
銀行業

当社は、佐賀県で唯一の信託銀行として、資産運用や相続など、みなさまの未来に寄り添うパートナーを目指しています。出産・育児をしながらも、性別にかかわらず能力を最大限発揮し、活躍していけるよう、多様な制度とキャリアサポートを整えており、働きやすい風土醸成と積極的な制度利用を推進しています。

### 男女共同参画推進 協賛事業所募集中！

事業所での男女共同参画の推進は、子育て環境の整備や仕事と家庭生活の両立支援など、事業所のイメージアップに繋がります。

協賛事業所への登録をお待ちしています！

担当：佐賀市 男女共同参画課  
電話：0952-40-7014  
FAX：0952-29-2095

申込用紙は佐賀市ホームページからダウンロードできます。

<https://www.city.saga.lg.jp/main/439.html>

詳しくは  
佐賀市HPを  
ご覧ください。





# SDGs× ジェンダー平等の社会



## 「ジェンダー」ってどういうこと？



男だから、女だからなど、性別で働き方や生き方が決められることがあるよね。

社会的・文化的につくられた性をジェンダーといいます。

## なにが問題？

- 女の子は人形やピンク色のおもちゃ、男の子は車やロボット…
- 女子は文系、男子は理系…



子どもの能力や行動、得意不得意を性別によって決めてしまうことはありませんか？



## ジェンダー・ギャップ（性差）はつくられていきます！

## どうしたらいいの？

赤ちゃん期の性差は小さくても大人のかかわり方によって拡大します。自覚がなくても性別によって関わり方や行動を変えていることがあります。それが子どものジェンダーステレオタイプを内面化させ、それに沿った行動を選択します。その結果、進路や職業選択などに影響を及ぼします。心の性差は、小さな差が積み重なり大きな差となつてつくられていきます。そうならないために、女兒と男児で話しかけ方を変えていないか、期待や評価に違いはないかなど、自分の無意識の行動を振り返り、性別ではなくその子の特性や興味などに注目し、子どもを一人の人間として尊重しましょう。



### めざすのは

性別に関わらず自分の能力が十分に発揮できるジェンダー平等な社会です  
ジェンダー平等はSDGs全体の目的です。また17のゴールを実現するための手段でもあります。

## 編集後記

今年で戦後80年です。男女共同参画から戦後の日本を振りかえると社会の変化がみえてきます。ジェンダー平等実現の道しるべとして男女共同参画社会基本法が1999年に制定されました。しかし、日本のジェンダーギャップ指数は依然として低位で、男女共同参画の課題は根強いです。当初は女性の労働参画が中心でしたが、徐々に育児休業法や雇用機会均等法などに発展してきました。戦後初期は急速な社会変化によりジェンダー平等意識が芽生えた時代でした。現代はその芽をどう育て、「地域の中の仕組みと意識」のアップデートが焦点となります。今号はこうした視点から見つめてみました。  
(編集委員 手塚美代子)

## 編集委員

(五十音順)  
栂島陽一郎・草野圭織・手塚美代子・  
中村美枝子・濱田仁晟・矢ヶ部ひとみ  
※編集委員は市民の方々にご協力いただいています。

## 発行・お問い合わせ

男女共同参画課  
TEL 0952-40-7014  
E-mail danjo@city.saga.lg.jp  
<https://www.city.saga.lg.jp/main/438.html>



過去の  
「ばすぽーと」が  
webで閲覧  
できます！